

キャラクター名 アナスタシア・イヴァノヴナ・スルコフ	プレイヤー名
-------------------------------	--------

シンドローム	モルフェウス モルフェウス	ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	中学生
オプション		年齢	14	性別	♀
覚醒	生誕	衝動	憎悪	初期侵食率	35%
出自	ロシア・ウラジオストク	経験		邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	2	0	0			2	行動値	15
感覚	4	1	2			7	(非装備時)	15
精神	0	0	1			1	戦闘移動	20
社会	2	0	0			2	全力移動	40

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	2
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ツァーリ・ココル(①+⑥)	射撃	7r+4	4	+Lv+4		ハンドレットガンス 使用時
ツァーリ・ボンパ(①+④+⑥)	射撃	7r+4	10	21		単体 C値-3 装甲無視 100↑ 【ハンドレットガンス 使用後】
ツァーリ・タンク(①+⑤)	射撃	7r+4	6	16		単体 C値-3 装甲無視 100↑ 【ハンドレットガンス 使用後】
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費	
祖国ロシア	P 尽力	N			
広瀬川裕太	P 同情	N			
ゴバルスキ	P 尊敬	N			
李静蕾 (リー・ジンレイ)	P 信頼	N			
山崎子 (ヤマザキコ・フォン・オーグラーフォード)	P 友情	N			
ベロニカ	P 感服	N 恥辱			
	P	N			
最大財産P:	4	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
CL:モルフェウス	2	2	メジャー					
効果:	①C値を-Lv							
ハンドレッドガンズ	3	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果:	②【武器作成】 攻:+[Lv+4]、射程30m 射撃							
カスタマイズ	2	2	メジャー	武器		対決		
効果:	③ダイス+Lv個							
錬成の掟	2	4	オート			自動	ピュア	
効果:	④リターン回 エフェクト作成物の攻撃力+5							
クリスタライズ	2	4	メジャー			対決	100↑	
効果:	⑤攻: +Lv*3、装甲無視							
ギガンティックモード	1							
効果:								
折りたたみ	★		メジャー	至近	自身	自動		
効果:	大きさにかわかわらずLv個までの物を隠せる							
無上厨师	★		メジャー	至近		自動		
効果:	大気やその場にある物質を使い料理を作れる							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

この世に生を受けて間もないころにレネゲイドウィルスが発症しオーヴァードとなる。UGNチルドレンとして育てられ幼い頃から訓練を積んできた。ロシア出身ではあるが、日本近郊のウラジオストクという土地柄、日本についても知る必要があり日本語も勉強している。日本に関しての知識はあるが、日本に行くのは今回が初めてであるがあまり乗り気ではない。そもそも彼女は日本について「平和ぼけした民族の集まり」と考え見下している。更に彼女は酒を呑むだけで仕事もしないロシア国内の男性に対してもよく思っていない。しかしロシアを思う気持ちは人一倍であり、祖国ロシアのために心血を注ぎたいと望んでいる。

彼女の父親のイヴァンも元KGBであり、強い愛国心を持った人物であった。そんな父の遺伝もあってか、彼女自身も愛国心にあふれた少女であった。時折彼女はUGNの職員を通じて父と交流しており、父の話を聞く内、彼女の父に対する尊敬の念とロシアに対する愛国心はより一層強いものとなった。将来父と一緒に暮らすことが、彼女のささやかな夢であった。だから彼女はこんな一人のUGNのエージェントとして命を落とすわけには行かなかった。ましてこんな日本の地で一生を終えるなど論外であった。

ちなみにロシアのUGNは国内外におけるFHの撲滅、レネゲイドウィルス及びオーヴァードの調査という目的から、KGBの後進ロシア国内の治安機関及び諜報機関であるFSB(連邦保安庁)と積極的に関わっている。FSB側においても、UGNとの連携は、オーヴァードによるテロ行為撲滅と治安向上、国内外の諜報活動において効果的であると判断されたためだ。